

みさき

61号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2020年8月11日発行



主な内容

こんなことが決まりました ②~③

9議員が町政を問う ⑧~⑯

特集 新型コロナ感染症 議会からの緊急提言! ⑰

5月・7月臨時議会の報告 ⑱~⑲

大きく育て美咲の子ども ^{ひかり} 太陽を浴びた味覚を友に

美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

表紙関連記事16ページ

の緊急経済対策を決定

一般会計補正予算など33件の議案が議決されました。

スクールバスの増車

新型コロナウイルスの感染防止のためバスを増車する。バスの中での密集解消を図るため、乗車率を定員の70パーセント以下とする。

〔感染予防対策事業費 1,440万円〕



避難所での感染予防対策

避難所での感染予防対策のため、段ボール製ベッドと間仕切りなどの設置により避難所開設時の衛生環境を保つ。

〔防災活動支援事業 525万円〕



次亜塩素酸水の無料配布

次亜塩素酸水生成装置を購入し、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。次亜塩素酸水の無料配布は今後も継続する。

〔感染拡大対策事業 205万円〕



次亜塩素酸水生成装置

公共施設の感染防止対策

老人憩の家などの12施設に感染防止用の加湿器と非接触型自動手指消毒器を配備する。

〔公共施設等感染防止対策 152万4千円〕



非接触型自動手指消毒器(イメージ図)

契 約

財産の取得

契約について提案があり、審議の結果全会一致で承認した。

◆小型動力ポンプ付積載車 (2台)

株岡山森田ポンプ

(岡山市北区)

1,958万円(税込)

条 例

一 町長等の損害賠償責任の一部を免責

〔美咲町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例〕

地方自治法改正に基づき、町長等が職務を行うとき善意でかつ重大な過失がないときは、一定額を免責するもの。

請願・陳情

地方財政の充実・強化を求める陳情書

自治労岡山県本部

執行委員長 安原 和行

必要な公共サービスを提供するため、社会保障予算の充実と地方財政の確立を求めるものであり、賛成多数で採択とした。

6月議会

でこんなことが
決まりました

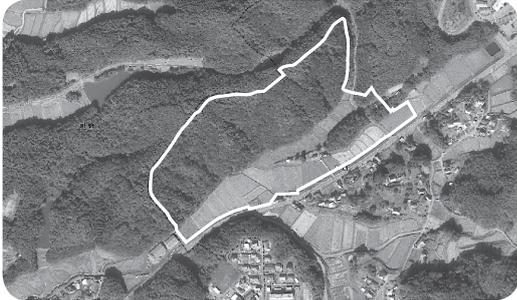
新型コロナウイルス感染症対応

令和2年6月1日～6月12日まで定例議会が招集され

義務教育学校建設事業

用地買収価格、補償価格が決定したことによる追加。内容は、業務委託料、土地購入費、補償金。

〔義務教育学校建設事業費 9,950万円〕



1法人20万円の事業所助成金

停滞する地域経済環境を好転させ、事業継続のための起爆剤として1法人20万円の助成金を交付する。

〔事業所助成金交付事業 6,030万円〕



ギガ(GIGA)スクール構想

1人1台の端末(タブレット)と高速大容量の通信ネットワーク環境を一体的に整備する。

〔小中学校情報通信事業 6,415万円〕



視覚障がい者などの読書支援

視覚障がい者などが自力で書籍や新聞などを読むことができるAI搭載の視覚支援機器を各図書館に2台ずつ配備する。

〔読書環境整備事業 163万7千円〕



AI搭載の視覚支援機器(イメージ図)

議員発議

電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長を求める意見書

令和2年度末をもって交付期限を迎える水力交付金について、令和3年度以降は恒久的な制度とし交付金の最高限度額および最低保証額の引き上げなど交付条件の改善や事務手続きの簡素化を要望する意見書を日本政府に対して送付した。

地方財政の充実・強化を求める意見書

「地方一般財源総額の確保」「社会保障予算の確保」「新型コロナウイルス対策として国の責任において十分な財源確保」「合併算定特例への対応」などを求める意見書を日本政府に対して送付した。



委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／松田英二、江原耕司、岩野正則、貝阿彌幸善の6人で審議しています。

【総務課】

特別定額給付金の給付

問 1人10万円の申請受付状況はどうか。

答 6月5日現在で対象6,103世帯のうち94.6%の5,773世帯の申請を受理している。全世帯支給に努力する。

【理財課】

新型コロナウイルス対策交付金

問 岡山県に申請している新型コロナウイルス対応の地方創生交付金対象事業と総額は。

答 担当各課から23事業総額で1億4,466万円を申請している。

【地域みらい課】

地域おこし協力隊の現状

問 地域おこし協力隊員4人の活動拠点はどこか。

答 旭地域の上口地区と中坩和地区、中央地域の打穴上地区、和田北地区で活動している。



町道拡幅予定地(柵原地内)

町道久木周佐線(柵原地区)の現地視察を行った。

柵原中学校の通学路であり、早期整備が望まれる。

【くらし安全課】

防災活動の支援対策

問 防災倉庫15棟と段ボール製ベッドと間仕切り各5組の整備根拠は。

答 防災倉庫は町内コミュニティ13地区と本庁および太陽の広場への設置を計画。段ボール製ベッドと間仕切りは当面防災倉庫に各5組常備する計画。

【産業観光課】

事業所助成金の支給

問 対象事業者数と支給金額はいくらか。

答 新型コロナウイルス対策として国の臨時交付金を活用し、町内300事業者に一律20万円の支給を計画。予算総額は6,030万円。

【上下水道課】

飯岡集落排水の下水編入

問 農業集落排水事業(飯岡処理区)の柵原公共下水事業への編入に伴う下水料金は変わるのか。

答 使用料の変更は予定していない。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、徴収対策室、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／左居喜次 副委員長／形井 圓 委員／山田雄二、藤井智江、林田 実、金谷高子の6人で審議しています。

【健康推進課】 子育て世代包括支援センター開設

問 子育て世代包括支援センターとは。

答 妊娠期から子育てについて気軽に相談できる窓口を本年12月に開設し必要な情報の提供を行う予定である。

【保険年金課】 美咲町地域福祉計画

問 地域福祉計画の内容は。

答 今後、地域福祉をどのように進めるかの素案を作成中で、高齢者保険福祉計画・第8期介護保険事業計画のアンケート調査を進める。

【徴収対策室】 滞納整理の状況

問 徴収対策室の実績は。

答 各関係課と密接に連携を取り、年々徴収率が上がってきている。各課が単独で対応するよりも効率よく徴収が進んでいる。



(有)M・P・Fやなほら(安井地内)

安井地区にある、(有)M・P・Fやなほら(養豚場)からの汚水流出について現地視察を行った。

代表者立ち会いの下、調整池、進入路側溝、浄化槽、堆肥場、リサイクル水槽、蒸散施設などを確認し、引き続き改善を求めた。

【福祉事務所】 コロナウイルス予防窓口整備

問 コロナ予防窓口は何が整備されるのか。

答 難聴者対応に対話支援機器を、外国人支援のために瞬間音声翻訳機を整備する。

【生涯学習課】 視覚障害者等読書環境整備

問 視覚障害者等読書環境整備の内容は。

答 視覚障がい者などが図書館を利用して、自分で新聞や書籍など読むことができる最新のAIを搭載した視覚支援機器を各図書館に2台ずつ配備する。

【教育総務課】 GIGAスクール構想

問 GIGAスクール構想の内容は。

答 各小学校、中学校に情報通信ネットワーク環境を整備し、タブレットを小学生、中学生に1人1台貸与し学習の向上に役立てる。

委員会 の活動

議会改革特別委員会からの報告

議会改革特別委員会は、議会の制度がその時々的情勢に適しているかを検証し、議会活性化に向けた議会改革の検討を担当しています。

委員長／岩野正則 副委員長／藤井智江 ほか全議員を委員とする13人で審議しています。

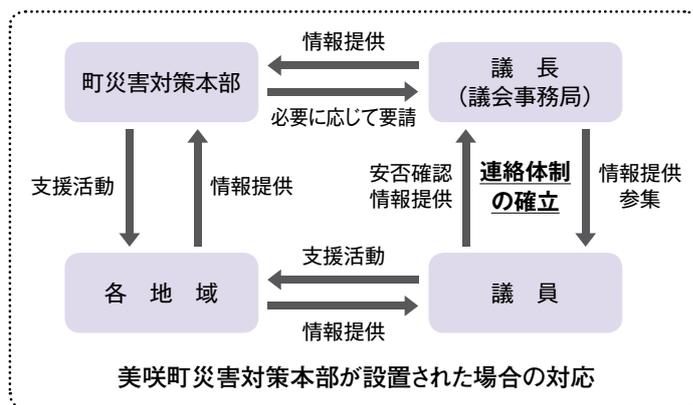
7月1日に第10回特別委員会を開催し、大規模な災害が発生した際に議会および議員の取るべき対応指針の策定について協議を行った。

近年、台風の接近による猛烈な風雨や異常な集中豪雨によって風水害や土砂災害など大規模な自然災害が発生する可能性が高くなっている。

大規模な災害のおそれがあるとき、町は町長を本部長とする「美咲町災害対策本部」を設置して応急・復旧活動に従事する。

議会および議員は、町の災害対応業務が円滑に遂行できるよう側面から支える活動を行うことを基本とする。

具体的には、①議会事務局との連絡体制の確立②地域における安全確保への協力③地域の被災状況などの情報収集④議員からの情報・要望のとりまとめと議長からの要請などを災害時における議会の対応指針として共有することに決定した。



柵原地域学校等建設特別委員会からの報告

柵原地域学校等建設特別委員会は、柵原地域に建設する「義務教育学校柵原学園(仮称)」の創設に向けた取組に対する審議を担当しています。

委員長／松田英二 副委員長／山田雄二 委員／藤井智江、形井 圓、延原正憲、左居喜次、林田 実、山本宏治、金谷高子の9人で審議しています。

6月22日に第16回特別委員会を開催し、教育委員会がまとめた美咲町立義務教育学校柵原学園(仮称)の創設基本構想について審議を行った。

パブリックコメント(住民からの意見聴取)を経て決定された基本構想によると、子どもたちの自立・共生・郷土を愛する心を育てるため児童・生徒の学びと成長を支える快適な施設整備を



スライドスクリーンを装備した普通教室



自習スペース

目指すとされており、今年度で建物の設計に取り掛かり、3年度から敷地造成工事を進め、4年度から建築工事に着手して6年4月の開校を目指すもので、概算による総事業費は40億円程度が見込まれている。

特別委員会からの意見を今後の基本設計などに反映させるよう意見を付して創設基本構想の内容について了承した。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
8	延原 正憲	1. 美作岡山道路の早期全線開通へ 2. 有害鳥獣駆除の有効な対策を
9	左居 喜次	1. どう取り戻す授業の遅れ 2. 本町への寄付の取り扱いは
10	形井 圓	1. 特別定額給付金の完全支給を 2. 商業施設撤退を受け思い切った支援策は
11	山本 宏治	1. 地方創生人材支援制度任期を振り返り どう思うか 2. 友好交流都市協定の今後の進め方は
12	貝阿彌幸善	1. どう取り組む第三次振興計画 2. 自治基本条例の制定について考えは

ページ	議員名	質問内容
13	山田 雄二	1. 6・3制の義務教育学校は考えられないか 2. 第三次振興計画の進捗状況は ◇ 義務教育学校基本構想は
14	藤井 智江	1. ひとり親家庭への支援は 2. 義務教育学校創設には住民の参画を ◇ 校内ネットワーク整備事業における子ども たちへの配慮は
15	金谷 高子	1. 妊孕性温存治療に助成を 2. 健康ポイント制度の見直しを ◇ 地方創生臨時交付金は
16	岩野 正則	1. 棚田保全のさらなる取り組みは

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
掲載できなかった質問は◇で
表示しています。



延原正憲 議員

質問 美作岡山道路の早期全線開通へ

答弁 課題をクリアし事業を推進したい



どんな道路ができるのか

問 令和元年12月20日に飯岡地区で美作岡山道路計画説明会が開催され、本年3月から常会単位で道路設計協議が予定されていたが、新型コロナウイルス対策で延期となっている。

早期全線開通に向け、町の対応を再度確認したい。

①道路計画の今後の予定は。

②町の事務処理体制は。

③本年1月24日に岡山県知事に提出した建設促進の要望書への回答は。

答 青野町長
①今後の感染状況

を注視しながら、早期に開催できるよう県と日程調整を行っている。

②本年4月に柵原総合支所の事務整理を実施し、地元要望などに迅速に対応が可能な体制となっている。

道路計画の進捗に伴って必要であれば、専門員の配置も考える。

③県からは、柵原ICを含む吉井ICから英田ICまでの区間を令和3年度新規補助事業に採択するよう国に要望すると聞いた。さまざま課題をクリアしながら、事業を推進したい。

質問 有害鳥獣駆除の有効な対策を

答弁 さらなる検討で一層の被害軽減を図る

問

本町の有害鳥獣駆除班員は捕獲駆除に懸命に取り組んでいるが、農作物被害は依然減少していない。

鳥獣による農作物被害は、耕作意欲を奪い、耕作放棄地が増加し、離農・集落崩壊につながる深刻な課題だ。

①昨年度の捕獲頭数は。
②ジビエ活用への研究成果は。
③被害防止への町長の覚悟は。

答 立石産業観光課長

①令和元年度の実績はイノシシ1,564頭、シカ299頭と大幅に増加している。



山でおとなしくしとりゃあよかった

②昨年のアンケート結果では、食肉処理施設は認知しているが、ジビエ活用への施設利用は普及していない。

答 青野町長

③町は鳥獣被害防止対策として、駆除班の捕獲駆除補助、防護柵の設置補助、狩猟免許取得経費および更新経費の補助などを行っている。

今まで地道に取り組んできた各種の施策が少しずつ成果を上げてきている。さらなる鳥獣害対策を検討し、一層の被害軽減を図りたい。



左居喜次 議員

質問 どう取り戻す授業の遅れ

答弁 夏季休業中に登校日を設ける



コロナに負けるな

問

今回、新型コロナウイルスが県内で拡散する中、本町において小・中学校の休業を余儀なくされた。保護者の皆様も大変心配されていることと思う。授業の充実が望まれる今日、授業の遅れをどのように取り戻していくのか。

また、子どもたち一人一人の学力差ができてしまう事も心配されるので対応策を示されたい。

答

黒瀬教育長
学習定着の遅れがあることは否めない。行事を振りかえて学習日とするなど対策を講じた結果、実質3日

間、新型コロナウイルスが県内で拡散する中、本町において小・中学校の休業を余儀なくされた。保護者の皆様も大変心配されていることと思う。授業の充実が望まれる今日、授業の遅れをどのように取り戻していくのか。

今後は、夏季休業中に登校日を設けることなど、早い段階で遅れを取り戻す予定である。次に、生徒一人一人の学力格差については、教師が家庭での学習記録表や課題プリントなどを作成し、家庭連絡や家庭訪問を行っている。

学力差がついてしまった子どもたちには、地道な学習を提供することや、夏季休業中にサマースクールを設けるなど、重点的な対応をしていく。

質問

本町への寄付の取り扱いは

答弁

寄付者の意向に沿える事業に活用する

問

本町への寄付の取り扱いについては、美咲町寄附採納事務取扱要綱に定められている。今日までに多額の現金、物品などの寄付・寄贈をいただいているが、その取り扱いはいはどのようになされたか、改めて問う。

また、今回コロナ禍に関連して、各地での寄付も報道により聞いている。本町にどのような個人あるいは団体から、何が寄付・寄贈をされているか示されたい。

答

青野町長
寄附採納事務取扱要綱には、寄付をいただくことで将来多額の維持管理費が必要になる場合、あるいは将来裁判で争うことや、

他者から苦情が出るなどが予想される場合などは寄付をお受けすることができないと定められている。今回の新型コロナウイルスに関する寄付としては、美咲町環境衛生協議会からマスク2,000枚、美咲町建設業協会からマスク2,000枚、美咲町管理職等互助会有志と美咲町職員労働組合から非接触式電子温度計16個の寄付があった。今後、寄付者の皆様の意向に沿えるような事業に活用をさせていただきます。



たくさんのご寄付ありがとうございます



形井 圓 議員

質問 特別定額給付金の完全支給を

答弁 100%支給に向け職員全体で努力する

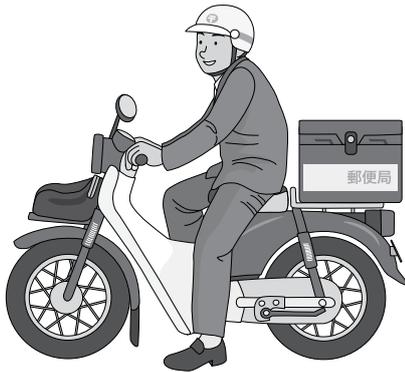
問 役場とは町民の役に立つ場所であると考えます。特別定額給付金の申請書が各家庭に郵送されてきた。

答 稲谷総務課長 ①申請状況は。②この給付金は町民全員に支給することが行政の責任ではないか。③法人に対し20万円を一律給付されるとあつたが、個人事業者、アルバイトをしながらの学生にも支援が必要ではないか。

答 青野町長 ①特別定額給付金は、町民一人当たり10万円が支給されるもの

答 光嶋地域みらい課長 ③学生などの支援策は検討を進め前向きに対応していく。

答 立石産業観光課長 ③資金繰りでお困りの人達が相談に来られている。困っている人達にどのようなことが必要なのか検討を進めていく。



申請はお済みですか？

質問 商業施設撤退を受け思い切った支援策は

答弁 買い物環境整備のため制度を創設したい



にぎわいのあるまちへ

問 中央地域内の中核にある商業施設が撤退されると聞くと、この施設が無くなれば日常の生活に大きな支障が出るとの相談を受けている。

答 地域の活性化のため、日常生活を守るためにも思い切った支援策が考えられないか。

答 忠政副町長 中央地域内の中核の商業施設については5月下旬をもって

撤退したと聞いている。この施設が撤退することは周辺エリアのにぎわいが失われ、町の経済が縮小するだけでなく、高齢者の買い物など日常生活に大きな支障が出る。

買い物環境整備のため、出店に必要な改装工事の一部を助成する制度を創設していきたい。

このほか各種補助金については幅広い制度があり、広報みさき、美咲テレビなどで周知を図っている。

町民に活用してもらえる制度となるよう、見直しに努める。



山本宏治 議員

質問

地方創生人材支援制度 任期を振り返りどう思うか

答弁

今後も地方での課題に向き合っていく

問 山本政策推進監の地方創生人材支援制度の任期が6月30日で満了する。2年を振り返りどう思うか。また、消防団など地域とのかかわりをどのよう感じたか。

答 山本政策推進監 着任直後には、西日本豪雨災害が発生し、町長の交代など現場内部も大変混乱していた時期だった。新体制では機構改革の実施、政策調整会議などで現場内部の連携強化、政策、企画、立案能力の充実を図ってきた。昨年度は、羅針盤と

問 山本政策推進監の地方創生人材支援制度の任期が6月30日で満了する。2年を振り返りどう思うか。また、消防団など地域とのかかわりをどのよう感じたか。

答 山本政策推進監 言うべき第三次振興計画の策定を行った。消防団に入団し、火災現場への出動や各地域での祭りで見こし担ぎなどを経験し、都市にはない人と人とのつながり、きずなの深さを感じる事ができた。また、自然環境や社会環境の厳しさも学んだ。今後も、公務員として地方での困りごと、草刈り、鳥獣対策、空き家対策など、課題にも向き合っていきたい。短期間でしたが第二の郷里だと思っ



今後ともよろしく願います
(答弁に立つ山本政策推進監)

質問

友好交流都市協定の 今後の進め方は

答弁

山本政策推進監に サポート役をお願いする

問 大阪府泉南郡岬町との交流事業が計画されていたが新型コロナウイルスの影響で中断している。今後の事業について問う。交流事業には両町のサポート役が必要と思われるが考えはあるか。また、大阪府岬町の児童・生徒に本町の特産品の卵を送り交流を考えてはどうか。

答 青野町長 合併十五周年事業で行う予定で調整してきたが、コロナ禍のため延期となっている。大阪府岬町はマリンドキュアが美しい海の町である。交流については、災害時の相互協定、小

問 大阪府泉南郡岬町との交流事業が計画されていたが新型コロナウイルスの影響で中断している。今後の事業について問う。交流事業には両町のサポート役が必要と思われるが考えはあるか。また、大阪府岬町の児童・生徒に本町の特産品の卵を送り交流を考えてはどうか。

答 山本政策推進監 中学生の交流事業、特産品の販売などが考えられる。山本政策推進監が中心となって担当していきたい。今後も何らかの形でサポートをお願いできればと思っている。特産品の卵については、学校給食への活用など実施に向けて検討している。



笑顔でステキなまちづくり
(2人のみさき町長)



貝阿彌幸善 議員

質問 どう取り組む第三次振興計画

答弁 対話による相互理解と情報の共有を進める



あさひ生き生き拠点(イメージ図)

問 第三次振興計画の基本計画は6章で構成され、現状と課題、施策の方向性、主要施策、目標設定指数を節ごとに上げている。主要施策について、具体性を欠く内容も見受けられるが、国土強靱化地域計画・津山圏域定住自立圏構想・岡山の連携中核都市圏構想など、今後、町がどの部分に力を入れて、どう取り組むのか、町民に明確に示し、説明していく必要があると思うが考えを問う。

答 青野町長 計画の目標達成に向けて「対話」による相互理解と情報の共有を進め、情勢に同じ臨機応変に決断実行していく。社会経済情勢の変化に対応・判断し、柔軟に内容を見直していく。また、振興計画を最上位とし実行していく。今後の各種事業の推進に当たってはスピード感を持って対応する。本年度策定予定の計画は、国土強靱化地域計画、地域福祉計画など18件、予定方針は行財政改革大綱、義務教育学校創設基本構想など8件計26件になる。第三次振興計画の着実に実行に努める。

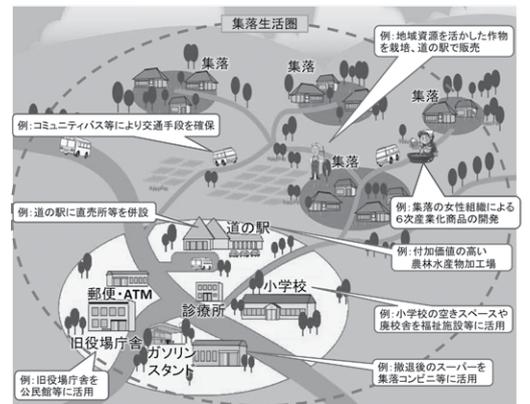
質問 自治基本条例の制定について考えは

答弁 まちづくりの基本であり調査研究を進める

問 町民が主役のまちづくりを目指し、政策、施策、計画策定の根本となるのが自治基本条例と捉えている。条例制定について町長の考えは。

答 青野町長 自治基本条例は「主役である住民が、まずからの責任により、主体的にかかわることであると考えている。住民、議会、行政が理念を共有し、3者が力を合わせてまちづくりを進めて行くために、どうあるべきか調査研究を進める。」

人口減少と少子高齢化への抜本的な対応策が無い中、どう向き合えるかならば持続可能な社会をつくれるかが大きな課題となっている。まちづくりの原点は、



「小さな拠点」づくり(イメージ図) 出典：内閣府



山田雄二 議員

質問 6・3制の義務教育学校は考えられないか

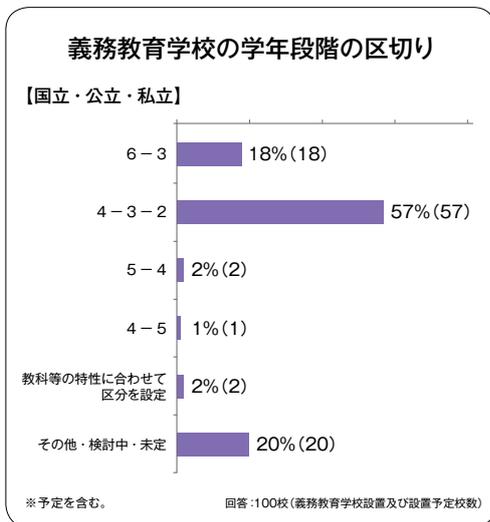
答弁 いろいろな意見を聞き前へ進める

問 改めて、本町の義務教育学校導入の目的と意義を問う。保護者から義務教育学校のことをよくわからないという不安の声をよく聞く。特別な学年の分け方をせず今まで通りの6・3制にして、通常の学校と同じ形の義務教育学校であれば、保護者の不安は解消する。そういう学校にできないか。

答 黒瀬教育長 義務教育学校は、新たな取り組みをしようと思えばかなり自由度がある。せつかく創るのだから、6・3制でなく、いろいろな意見を聞き、それぞれも含め、義務教育学校でなかったらぶれずに前へ前へと進めていきたい。

問 全国的には教育課程の特例を活用する例も多いが、本町の場合、小学部6年・中学部3年にして小学部の卒業式も中学部の入学式もきちんと行い、授業も行う。そういう形の義務教育学校は考えられないか。

答 黒瀬教育長 いろいろと検討してみる。



出典：文部科学省 小中一貫教育の導入状況調査の結果（平成29年3月）

質問

第三次振興計画の進捗状況は

答弁

幅広い声をもとに策定を目指す

問 美咲町第三次振興計画が成立した。各種計画の優先順位や進捗状況を問う。

答 青野町長 本年度策定予定の計画は、美咲町国土強靱化地域計画、地域福祉計画など18件、策定予定の方針などが、美咲町行財政改革大綱、義務教育学校創設基本構想など8件、合わせて26件である。計画策定にあたり、住民ニーズの把握や幅広い世代の住民意見を取り入れることが重要である。

問 介護保険事業計画、生涯学習基本計画、行財政改革大綱、義務教育学校創設基本構想であり、本年度末の策定完了を目指している。

答 作るだけでなく、作った計画を住民と共有して推進することが重要だ。そのためには住民の声によく耳を傾けて計画を策定することが大切だ。その点はどうか。

答 青野町長 アンケート調査やインターネット、SNSの活用による住民参加を進めたいと考えている。

	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	
振興計画	基本構想	→				
	基本計画	柔軟に見直し →				



藤井智江 議員

質問 ひとり親家庭への支援は

答弁 国の2次補正で検討したい



子育て支援の充実を

問 ①国と県のコロナ感染症に対する交付金額は。

②ひとり親家庭に支援金を給付できないか。

③暮らしに大きな影響がある事業者への町独自の施策は。

④町内で感染者が出たときの医療体制は。

感染者、家族への偏見・差別への啓発がでないか。

⑤専用窓口を設置し、事業者や町民の相談に応じる体制ができないか。

答 青野町長

①③国1億594万7千円。県から2,700万円が交付される。子ども一人に1万円。

妊婦に1万円。1法人当たり20万円を支給。次亜塩素酸水の無料配布。児童生徒のスクー

ルバス通学時の感染予防、避難所での感染予防など23事業で1億4,465万9,000円を計画。

②ひとり親家庭への支援は国の2次補正で検討したい。

④感染者が出たときは、特定の医療機関で診察検査、重度の場合は入院。県および県医師会で体制が整えられる。誤解や偏見への啓発は、町のホームページに掲載。

⑤分野が多岐にわたるので状況を見て対応。

質問 義務教育学校創設には住民の参画を

答弁 必要に応じ意見聴取し情報発信をする

問

榊原地域義務教育学校創設基本構

想について問う。

①素案に対するパブリックコメントがあまりにも短期間ではなかったか。

②専門部会で検討し進めるようだが、公募できないか。

③専門部会の協議内容を地域へどのように説明するのか。施設の複合化を目指しているのであれば住民の参画が必要ではないか。

④義務教育学校の先行自治体で課題となっている6年生問題について専門部会でどう対応するのか。

答

黒瀬教育長

①4月27日から5月11日までに集まったパブリックコメントは21名、79項目。現在とりまとめ中。

②公募は考えていない。

③必要に応じ意見聴取、随時情報の発信をする。

④問題になっていないと認識している。

問

11回の地域説明会に町長は1回も出てない。榊原地域の住民、子どもたちを大切に思っているのか。

答

青野町長

遠慮なく教育委員会に来ていただければ、説明をし、意見を聞く。



住民の参画を



金谷高子 議員

質問 妊孕性温存治療に助成を

答弁 治療内容を十分学習し検討する



みんな受けよう健康診断

問

女性のがんにかか
る率の第1位は、
乳がんであるといわれ
ている。本町は乳がん
検診無料クーポンを40
歳の人を対象に配布し
ているが、受診率が伸
びていないと聞いてい
る。

答

清水健康推進課長
①令和元年度のク
ーポンの利用受診率は
34・2%で、勤め先で
検診を受けたり、人間
ドックを受診した人は
入っていない場合もあ
る。
②町が実施する乳がん
の受診率は平成30年度
65・7%、令和元年度
70・8%、そのうち、乳
がんと診断された人は
平成30年度が1人、令
和元年度が1人である。
③妊孕性温存治療の助
成については、少子化
対策、がん対策として、
治療内容、助成額につ
いて十分学習し検討し
たい。

質問

健康ポイント制度の見直しを

答弁

達成要件の改善を検討する

問

健康ポイント制
度の目的は、健康
づくりのためのきつ
けづくりである。

答

健康ポイント制
くりをすることを目的
として、平成27年度施
行、28年度から実施、
本年度で5年目を迎え
る。
会で年齢・要件も含め
十分協議検討し、来年
度に向けて達成要件の
改善を前向きに検討し
ていきたい。

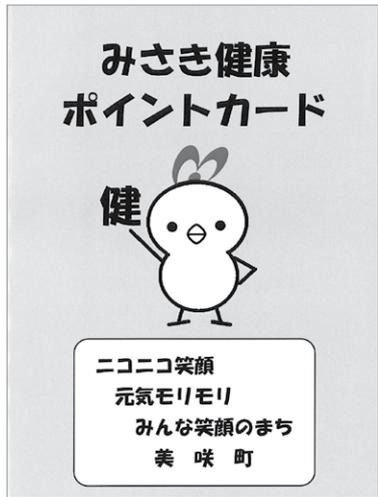
本町の制度では検診
を3項目以上受け、40
ポイント以上を獲得し
た人に粗品を贈呈する
となっている。

「通いの場」に休まず
通って40ポイント獲得
しても、高齢で基本検
診に行けないため、粗
品が貰えない人がいる。

健康づくりのきつ
けが目的なら健康ポイ
ントを獲得した全員が
対象にならないか。
今年度は始まったば
かりなので、実行委員
がえる。

答

清水健康推進課長
この制度は、各
種検診の受診向上と健
康に対する意識や関心
を高め、楽しく健康づ





岩野正則 議員

質問 棚田保全のさらなる取り組みは

答弁 町として棚田地域
活性化に向けて取り組む



厳しい棚田の保全

問 棚田の保存、町の観光、農業、地域活性化の取り組みの成果を問う。

答 立石産業観光課長 大坪和地区と小山区の棚田で耕作放棄地が年々増えている。棚田の維持、活性化のためには、農家の後継者不足を解消しなければならぬ。

支援策として、現在、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金、農地中間管理機構への貸し付けなどを活用し、営農が集落単位で行われているが、高齢化が進み、地域での体制づくりの話し合いも進めていかなければならない。

問 さらなる取り組みと成果を問いたい。

答 立石産業観光課長 棚田米のブランド化はある程度確立してきた。移住・定住のPRも必要と考えている。

県外から、ぶどう栽培での移住、就農もある。担当課として取り組みを進めていきたい。

答 青野町長 地元の機運の盛り上がり期待したい。棚田の保全は大変厳しい状況にあるが、町として棚田地域活性化に向けて取り組んでいく。

表紙の紹介

柵原東保育園のとなりにある畑で育った野菜をみんなで収穫しました。
「とってもおいしかったです!」



民生委員児童委員協議会総会に出席

6月29日、美咲町民生委員児童委員協議会総会が開催され、議長・民生教育常任委員会委員長および副委員長が出席した。



山崎会長より活動の重要性などについての挨拶に続き、美咲警察署生活安全課井手課長から特殊詐欺の実態と防犯対策に関する報告が行われた。

令和2年9月定例会の予定

- 令和2年9月に予定されている美咲町議会定例会は
 - ◆8月31日(月)開会～9月18日(金)閉会の19日間
 - ◆一般質問は9月1日(火)～2日(水)の2日間
 - ◆決算認定特別委員会9月9日(水)～9月14日(月)の4日間
- (なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



新型コロナウイルス感染症 議会からの緊急提言！

新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるう中、美咲町においても住民の安心・安全を最優先にしながら地域経済の安定と継続が図られるよう速やか且つ積極的な対策が必要となります。町議会では、さまざまな対策や支援策についての提言書を町執行部に提出しました。



新型コロナウイルス感染症に対する対策や支援策について議会がまとめた19項目の提言書を松島議長・金谷副議長から青野町長に提出

提言書の主な内容は次の通りです

生活支援策

国の第2次補正予算において拡充される地方創生臨時交付金を財源に、国・県・町が行う各種支援制度において、雇用の確保など支援を必要とする人にとって利用できる制度が何であるかを周知徹底し、利用の促進を図ること。

経済対策

新型コロナウイルス感染症の影響を受け経営が悪化している中小事業者や個人事業主、特に経営の継続が厳しい事業者に対して、国・県からの交付金の活用や町独自の支援策を実施するなど経済対策の強化を図ること。

医療・福祉支援策

感染症第2波の到来を想定し、引き続き保健所および医師会など関係機関と十分に連携を行い、町内医療機関が感染症に対して迅速な対応ができる体制への支援や協力を図り、医療従事者への財政的・物資的な支援を行うこと。

教育支援策

長期休業による児童・生徒の健康管理や心のケア、家庭における学習状況の把握や教材の充実など支援体制の強化が必要。

また、ICTを活用した授業の導入が進むなか家庭での教育環境に格差が生じることが無いように支援を図ること。

危機管理対策

新型コロナウイルス感染症の第2波・第3波の到来を想定して十分な対応が取れるよう対策を講ずると共に、台風や集中豪雨、地震その他の災害に備え、避難所開設時の感染防止策など危機管理体制を想定し必要な設備や物資の確保を図ること。

町行事対策

今年9月以降に予定されている町の事業やイベントなどの開催については早期に方向性を示す必要がある。

中止となった事業の財源については、新型コロナウイルス感染症対策への活用を図ること。

全ての町民に一人10万円の給付金を支給

5月1日に臨時議会が招集され、一般会計補正予算14億5,003万円など12議案が議決されました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として成立した国の第1次補正予算に合わせた緊急的な措置が主なものとなっています。

国の特別定額給付金を計上

1万3,912人の全町民に一人10万円の特別定額給付金を支給する。

〔特別定額給付金費 14億1,340万円〕



子育て世帯を支援

0歳～15歳の子ども達を育てる子育て世帯に2万円(国1万円・町1万円)の給付金を支給する。

〔子育て世帯特別給付金費 3,656万円〕



妊婦さんの世帯を支援

町内に在住する妊婦さんの世帯を支援するため、町独自の政策として一人1万円の給付金を支給する。

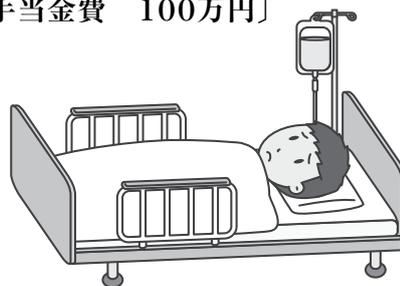
〔妊婦特別定額給付金費 39万円〕



国民健康保険を拡充

国民健康保険者が新型コロナウイルス感染症に感染し、労務に就くことができなくなったときは傷病手当金を支給する。

〔傷病手当金費 100万円〕



条例

■傷病手当金の支給を追加

〔国民健康保険条例の一部改正〕

〔後期高齢者医療に関する条例の一部改正〕

新型コロナウイルス感染症に関連した傷病手当金支給のための項目を条例で定める。

契約

財産の取得

塵芥収集車(2台)を購入するための契約締結案が提案され、審議の結果全会一致で承認した。

◆塵芥収集車取得(2台)

(株)亀甲マイカーセンター

(美咲町打穴中)

2,090万円(税込)



7月臨時議会でこんなことが決まりました

景気浮揚策や経済的支援策の予算計上

7月29日に臨時議会が招集され、一般会計補正予算5億19万円など7議案が議決されました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として成立した国の第2次補正予算に合わせた緊急的な措置が主なものとなっています。

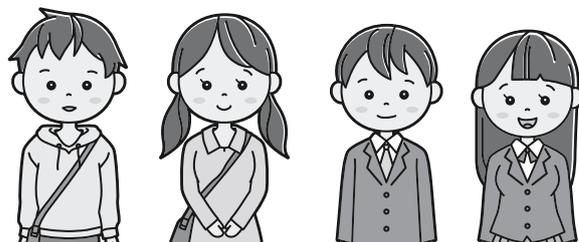
子育て・育児を支援

ひとり親世帯に5万円、今年4月28日から来年3月末までに生まれた乳児に一人10万円の給付金を支給する。
〔子育て支援費など 1,580万円〕



大学生・高校生を応援

経済的に困窮する学生の修学や家庭学習のためのリモート環境の整備に一人5万円の支援を行う。
〔学生等就学支援費 3,600万円〕



個人事業主の運転資金助成

消費者の自粛により売上が減少した個人事業主の事業継続を応援するため、10万円の助成金を支給する。
〔事業継続支援助成事業費 7,832万円〕



コミュニティ施設等感染防止

感染症防止対策として各コミュニティ施設の空調機器・トイレ・サッシ・床などの修繕工事を行う。
〔感染予防対策費など 1,646万円〕



中央運動公園の施設改修

中央運動公園の総合体育館の屋根・トイレ、多目的グラウンドのトイレや照明設備にそれぞれ改修工事を施す。
〔防災活動支援費など 1億2,090万円〕



エイコンスタジアムを改修

エイコンスタジアムにおける感染症防止対策として1塁側と3塁側の更衣室・トイレを改修する。
〔感染防止対策費 3,300万円〕

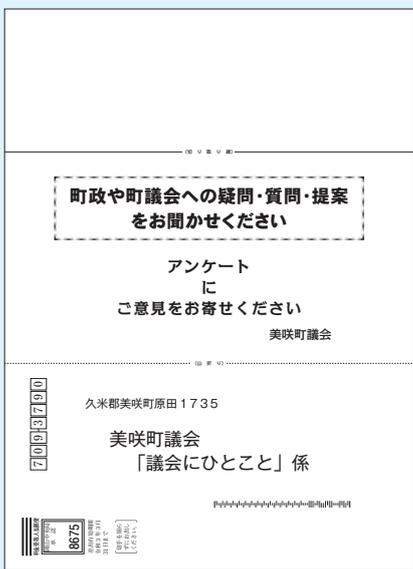




第9回美咲町議会報告会及び意見交換会は 来年度に延期します

美咲町議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度に予定していましたが「第9回美咲町議会報告会及び意見交換会」の開催を中止とし、来年度へ延期することにいたしました。

町民皆様の健康・安全面を第一に考慮した判断でありますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



アンケートにご協力ください

第9回美咲町議会報告会及び意見交換会が来年度に延期されました。

皆様からの疑問・質問・提案などについてご意見をお伺いすべく「議会だより」の中にアンケート用紙を入れさせていただきました。

是非ともご活用ください。

美咲町議会

編集 新型コロナウイルスの第二波が心配される中、社会・経済情勢も大きく変わりつつあります。
後記 私たちの生活の仕様もいろいろと変革を求められています。
私たち議会も「感染防止」を念頭に議員活動に取り組んでいます。
毎年実施している議会報告会・意見交換会も残念ながら今年中止せざるを得なくなりました。
議会には町民の皆様の声を町政に反映させる大きな使命があります。
そのため、アンケートにより皆様の声をお聴きしたいと企画しました。
忌憚のないご意見をいただければ、幸いです。
(延原記)

議会広報編集特別委員会
委員長 松田 英二
副委員長 藤井 智江
山田 雄二
延原 正憲
左居 喜次
岩野 正則

(切 り 取 り 線)

町政や町議会への疑問・質問・提案 をお聞かせください

アンケート
に
ご意見をお寄せください

美咲町議会

(山 折 り)

7
0
9
3
7
9
0

久米郡美咲町原田 1735

美咲町議会
「議会にひとこと」係



料
金
受
取
人
払
郵
便

岡山中央局
承 認
8675

差
出
有
効
期
間
令
和
3
年
3
月
3
1
日
ま
で

切
手
を
貼
ら
ず
に
お
出
し
く
だ
さ
い。

郵送の場合は、この部分を切り取ってください。

ファクスでお届けいただける場合は、このまま
0868-66-2038 まで送ってください。

✂ (切り取り線) ✂

のりしろ

のりしろ

議会にひとこと

あてはまる項目に○をしてください

問1 今回の議会だよりで最も関心が高かった記事をお聞かせ下さい。

1. 定例会の報告 2. 委員会の報告 3. 議員の一般質問 4. その他 ()

(ご感想)

問2 今後の議会だよりで取り上げてほしい事柄をお聞かせください。

1. 女性の意見 2. 若者の意見 3. 高齢者の意見
4. 小地域の意見 5. 各種団体の意見 6. その他 ()

(ご感想)

(谷折り この線に沿って内側に折ってください)

問3 町政や町議会に町民の声が反映されていると思いますか。

1. 反映されている 2. ある程度反映されている
3. 反映されていない 4. わからない

(ご感想)

問4 町議会に対するご意見がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。差しつかえなければご記入ください。

性別	男性・女性	年代	歳代
----	-------	----	----

のりしろ